

CHAPTER FOUR: CHARACTER —ROLES AND IMMERSION 前半 第4章:キャラクター——役割と没入 (前半)

「ロールプレイング」という用語「ウォーゲーム」と同様、ドイツ語から英語に入ってきた。ドイツ語の「ローレンシュピール」はもともと、ヤコブ・L・モレノが発明した「サイコドラマ」に由来する。モレノは1925年にアメリカへ移住してきた。

4.1 Coalitions at RAND and in *Diplomacy* ランドの合同と『ディプロマシー』

ランド (RAND) のクリークシュピールに存在したロールプレイ要素について。

4.2. From “Let’s Pretend” to Conventry 「なりきってみよう」からコンヴェトリーへ

冷戦期のウォーゲームとしてのRPG。モレノの「より適切に役割を演じる方法を学ぶこと」。

4.2.1. Child’s Play 子どもの遊び

ブロンテ姉妹の記録に出てくる「なりきってみよう」。

4.2.2. The Mariposan Empire マリポサン帝国

SF ファンダムの影響など。

4.3.2 Personalies by Post 郵便ゲームの個性

↑
ガイギャックスも親しんだ『ディプロマシー』の派生ゲーム。

4.4. Improvisation and Anachronism 即興とアナクロニズム

想像的アナクロニズム協会のRPG的な活動について。

(岡和田晃、2015.02.26、なお本稿は読解補助のために私的に作成したノートで、内容の正確さを保証するものではなく、また随時アップデートされます)